

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人カトリック児童福社会
金ヶ瀬カトリック児童クラブ

令和6年度

金ヶ瀬カトリック児童クラブ事業報告

国の定める放課後児童クラブ運営指針に基づき、十分にゆきとどいた環境のもとに、子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援を図る。

定員 40 名 現員 26 名（令和7年3月31日現在）〈延べ人数 382 名〉

開所時間

- ・授業のある日 授業終了後から午後6時45分迄
- ・学校の休業日 午前8時から午後6時45分迄

児童クラブは、授業終了後心身共に疲れたり緊張して帰ってくる子供たちが、5時間以上も生活する場で有ることから、家庭的な雰囲気の中でゆったり・楽しく・安心して過ごせる様な環境づくりや遊具の整備、おやつ提供を心がけるようにしました。

今年度は様々な感染症も落ち着いてきて、今までのような制限も無くなったことから行事等も例年通りに行う事が出来ました。民生委員さんとの交流会は2回行い、一緒にゲームをするなど親睦を深める事が出来ました。読み聞かせの会や民話を聞く会、昔話の会等絵本を見たりお話を聞く体験も多く持ち、本やお話の好きな子どもに育っています。

生活面では縦割り活動を行い、1年生に2・3年生が色々な事を教えたり、お世話をする活動を通して優しい心や愛と感謝の心を育む環境づくりに取り組んでいます。又、季節を感じる行事を大切に、復活の卵作りや七夕飾り・クリスマス・団子差しも楽しみました。心の育ちの面では、「あいさつの心」を大切に、大きな声で進んで言える子どもになるように職員も子どもも皆で取り組みました。特に感謝の言葉「ありがとう」を大切にしました。

保護者の方に、夏休み等の長期休暇のお弁当の負担を軽減したり、お楽しみ体験としてクッキング活動やこども食堂の依頼、おかず弁当の日を設けるなどして喜んでもらうことも出来ました。

新入児は町内の色々な幼児施設から入所してくる為、事前の様子を知る事も大切に、連絡を取り合い細やかな情報の共有を図るようにしました。小学校や町の保健師・児童相談所との連携も図りながら預かりました。気になる子ども・暴言を吐いたり暴れる子ども、学習や本読み等落ち着いて取り組めない子どもが年々多く見られるようになって来ているので、保護者との信頼関係を深める努力や支援の方法について研修会や勉強会を行い、職員の質の向上に努めました。

令和7年4月1日
金ヶ瀬カトリック児童クラブ